

広報

あいろ

'79

3・1

No. 183

発行 秋穂町役場



430人が参加した 親子走ろう大会

7回目を迎えた「体力づくり親子走ろう大会」が2月18日、秋穂小学校校門から黒淵北農道 1.5 ㍓を折り返し3㍓コースで行われました。参加者は、3つの坊やから64歳の男性まで430人で、これまでの最高を数え、親子参加も70組ありました。ことしも元気いっぱい、全員が完走しました。（関連記事6.7㍓）

家族そろって 交通災害共済へ

3月1日から受付開始

三月一日から、交通災害共済加入の受け付けを、秋穂側は総務課で、大海側は大海支所で行います。掛け金は従来通りで、見舞金は増額されました。五十三年度に加入しておられるかたは引き続きご加入を、また未加入のかたは、万一に備えて家族そろってご加入ください。

加入できる人

秋穂町に住民登録または外国人登録のある人。ただし五十四年度中に、他の市町村に転出されても、県内の全町村間と新南陽市を移動されたかたについては、資格が継続します。

共済掛金

一人につき年額五百円。ただし中学生以下と七十歳以上のかたは年額三百円。いずれも一括納入です。

共済期間

四月一日から翌年三月三十一日まで。途中からの加入もできますが、この場合も掛け金は同じです。

加入申し込み方法

各戸に配付してある「交通災害共済加入申込書」に記入され、掛け金を添えて総務課または大海支所へお申し込みください。

◇
◇
◇

お年寄り子どもに多い交通事故

本町の、昨年四月一日から本年二月二十日までの見舞金支払い件数は二十件。金額にして八十三万五千元です。

これを年代別にみますと、一番多いのが六十歳以上で六件、次いで五十歳代の五件、以下、小学生三件、三十・四十歳代各二件、二十歳代と五歳以下各一件の順で、年齢の高い層と子ども層の事故が多いのが目立ちます。

このように、私たちはいつ、どこで、どのような事故に遭うかわかりません。お互いが、わずかな掛け金を出し合って、万一の時に助け合うのが、交通災害共済制度です。五十三年度の加入率五八・七割を、大幅に伸ばしたいものです。

見舞金を増額

五十四年度の掛け金は、従来どおりに据え置かれています。見舞金については、一等級（死亡）の七十万円を八十万円に引き上げるなど、五等級までについては、それぞれ増額されました。（詳しい内容は、各戸に配付の「交通災

害共済制度のあらまし」の別表をご覧ください。）

交通事故が起きたら 必ず警察へ届け出を

後で見舞金を請求するとき、「事故証明書」が必要になってきます。必ず、警察署へ事故の届け出をしておきましょう。

見舞金の請求期間は、事故が発生した日から二か年です。交通災害共済制度では、本人の請求にもついでに支払いますので、期間内には、忘れずに請求しましょう。 ※ご不明な点は、総務課へおたずねください。

無事故はみんなの願い

子どもと老人は動く赤信号

昨年、町内でも死亡事故が発生し、事故件数も増加しました。ことしも、全体的に死者・事故件数とも増えており、とくに老人と子どもの事故が増えていることから二月には、老人と子どもの事故をなくそうと、「お年寄り、子ども交通安全特別旬間」が実施され、街頭指導などが強化されました。

無事故はみんなの願いです。それにはまず、交通のきまりを正しく守る事です。事故を起こさない、事故に遭わないために、とくに

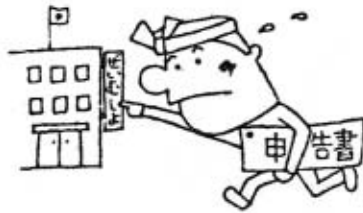


外出、散歩のとき、ルールを正しく教えましょう。

次のことに注意し、実行してください。

- ・ 学校や遊園地などの付近では、子どもの飛び出しに、とくに注意しましょう。
- ・ お年寄りや自転車のそばを通るときは、速度を落として十分注意しましょう。
- ・ 自転車の進路を変えるときは、必ず安全を確認し、手で合図をしましょう。
- ・ 狭い道路から広い道路に出るときは、必ず一時停止をして、安全を確かめましょう。
- ・ 交通ルールを守らない親の行動は、そのまま子どもがまねをします。大人が、正しい手本を示しましょう。
- ・ 横断する前には必ず立ち止まって、左右の安全を確かめましょう。
- ・ 子どもは助手席に乗せないで急停車したときなど、大変危険ですから、子どもは、必ず後部座席に乗せましょう。
- ・ 自転車には安全な乗車装置を、自転車に子どもを乗せて走るときは、安全な乗車装置（たとえば補助いすなど）をつけて乗せなければ違反です。
- ・ ちなみに、山口県道路交通規則では、十六歳以上の人が、六歳未満の幼児を安全な乗車装置に乗せるか、四歳未満の幼児を、ひもなどで確実に背負って乗る場合のみ、二人乗りを認めています。

確定申告はお早めに



所得税、住民税の申告と納税は、3月15日までとなっています。パンフレット等でお知らせしていますように、2月23日から3月8日まで、各部落をまわって申告相談をお受けしています。該当日に仕事などの都合で来られない人は、15日までに申告をされますよう、お願いします。

固定資産課税台帳の縦覧期間を変更

期間：4月1日～20日

固定資産課税台帳の縦覧は、毎年3月に行っていましたが、ことしは評価替えの年にあたりますので、4月1日から4月20日までに行います。

ご不明な点は、税務課へお問い合わせください。

町道隣接地の宅地等転用には町の同意が必要です

最近、町道に隣接する農地を宅地等に転用したり、町道沿いに土地造成工事をされるのを多く見かけますが、この場合道路の管理者である町の同意が必要です。

詳しいことは、施設課へおたずねください。

広報に「あいさつ運動の体験」をお寄せください

あいさつ運動が始まって7か月がたちました。この運動へのとりくみや広がりを、いろんなかたに紹介していただいています。あなたが自身、「あいさつされてとても感動した」とか、「すばらしいお子さんに出会った」などの体験をお持ちではありませんか。ぜひご紹介ください。ご連絡は、企画室広報係まで。



西村さん(左)とご家族

中津江 西村 清子

我が家のあいさつ運動

私の家では、みんなであいさつをするよう心がけています。朝、おじいちゃん、子どもたちに「おはよう」と言われても返事がないと、私が「なんね、おはようは」と注意します。するとおじいちゃん、

「おー、まだ目がさめんのー」と笑って言われます。学校から帰ると、子どもは「ただいま」と言います。私が、「まあー、よその家に帰らんで自分の家に帰ったね」と言って迎えたときは、これは困ったと思い、大きな声で「おかえり」とあいさつをします。



お年玉つき年賀はがき
当選番号のお知らせ

- ◆一等 ラジオ付きテレビ
A 組 〇五五二二三
各組共通 八八七三二八
一五二二五三
二七四〇七七
- ◆二等 ポケットカメラ
A 組 (下五けた)
二三八八七
各組共通 (下五けた)
六〇一七二
- ◆三等 手紙セット
各組共通 (下三けた)
七六四・二二八
- ◆四等 お年玉切手シート

各組共通 (下二けた)
八一・四四・一三
お年玉賞品の引き換えは、八月四日までです。お早めにお引き換えください。

進学・就職おめでとうをお便りで
進学・就職のシーズンになりました。希望を胸に、新しいスタートを切る友人や知人に、お祝いや激励のお便りを出しましょう。
美しいデザインや愛らしい絵などの入ったグリーティングカードに、ひとこと書き添えるのもよい思い出として残ることでしよう。

みんなの健康



黒潟北・福江日出男さん
二男・洋司ちゃん
(一歳九か月)

3月の保健衛生行事表

日	曜日	受付時間	行事名	場所	対象
23	金	9:30 ~ 11:30	母子推進員研修会	中央公民館	母子推進員
6	火	10:00 ~ 15:00	保健相談	大海分館 役場談話室	希望者

牛乳びん122本分が献血される

ご協力ありがとうございました

二月十三日、県赤十字血液センターの移動採血車、白ぼと号が本町を訪れ、住民の皆さんに献血を呼びかけたところ、百四十二人のかたがかけつけてくださり、百二十二人の皆さんから、二万四千四百cc、牛乳びんにして百二十二本分の献血をいただきました。いつも職場ぐるみで献血いただくと、県内海水産試験場、県内海栽培漁業センターのほか、特に今回は、町内の事業所へ呼びかけを行なったところ、事業主のかたがたの温かいご理解により、榑木原製作所、榑秋穂タクシー、秋穂農協、秋穂郵便局、町商工会、山口農高秋穂分校、町役場の皆さんの積極的なご協力を得て、予想を上回る成果をあげることができました。

本年度の町の献血は、八月九日に一回目を、二回目は、八月に新成人の皆さんが、はたちの献血。

目。これまでと比べて参加人員がぐっと増えたことは、献血に対する皆さんの理解が深まり、その輪が大きく広がってきていること、表れといえましょう。

あなたの尊い血液は、全血のまま使用される場合もあります。が、患者さんが必要としている成分だけを輸血する方法もとり入れられており、一人の献血が、二、三人の患者さんの治療に役立っています。

事業所の皆さんはじめ、一般のかたがたのご協力に、心から御礼申し上げます。

男女別の献血者数

受付	142人
男	84人
女	58人
献血者	122人
男	77人
女	45人
採血できなかった人	20人
男	7人
女	13人

冬の健康



冷たい風が吹き、空気が乾燥するきょうこのごろ、膚や手がざらざら荒れていたり、せきをコンコンする人が多いです。

かぜや膚荒れ予防にビタミンA・Cをたっぷりとりましょう。

寒い季節こそ、野菜をたっぷり取って、かぜや膚荒れを防ぎましょう。

ビタミンCが欠乏すると壊血病になり、ビタミンAが不足すると夜盲症になるなど、いろいろと体に障害を起こしやすくなります。

ビタミンAは目だけでなく、皮膚や粘膜を守り、不足すると膚や手が荒れてきます。また、

と抵抗するホルモンを体内でつくりに出し、細胞と細胞をつなぐ物質の合成にも役立ちます。また血管の壁を強くして老化を防ぎ、傷を早く治す作用をします。最近では、鉄分の吸収を助ける働きがあるともいわれています。

国民栄養調査の結果によりますと、ビタミンAはまだ不足しています。冷たい風から身を守り、一日の活動の疲れを少しでも早く回復するため、また各種病気の予防のためにも、ビタミンCの多い野菜とともに、ビタミンAを多く含む緑黄色野菜を、毎日欠かさず心がけが必要です。

一方ビタミンCは、ストレスが侵入しやすく、かぜをひきやすくなります。

気管や胃の粘膜も弱まり、細菌が侵入しやすく、かぜをひきやすくなります。

犬の登録と狂犬病 予防注射をします

4月4・5日に町内を巡回

犬の登録と狂犬病予防注射を次の日程で、町内を巡回して行います。犬を飼っている人は、最寄りの会場で済ませてください。

本町では、6世帯に一頭の割で犬が飼われています。犬を飼う人は犬の登録をし、春と秋に狂犬病予防注射を受けさせることのほか、つないで飼うことも義務づけられています。

また、運動させるときは、十分制御できる人がさせるなど、人に迷惑をかけるないように飼いましょう。

なお4月1日から、登録と予防注射の手数料が、次のように改正されました。

■手数料

登録料	(1年分)	2,000円
注射料	(1回ごと)	1,200円
計		3,200円

■町内巡回日程

4月4日(水)	
9時～10時	天神町集荷所前
10時30分～12時	役場大海支所
13時～14時	赤崎公民館前
14時30分～16時	花香南公民館前
4月5日(木)	
9時～10時	東天田公民館前
10時30分～11時30分	黒瀧南公民館前
13時～16時	役場車庫前

※当日は、印鑑と手数料をご用意ください。

仕事の途中を献血にかけて、検査を受ける皆さん



山口農高秋穂分校三年
浅原加代子さん(18)

生徒会へ、献血参加を提案した



(大河内北)

「献血は健康の
パロメーター」
と語る
小野寛一さん(53)

今回、山口農高秋穂分校の二・三年生二十五人が、献血に参加してくれました。引率の則常先生のお話によれば、生徒の「私たちが社会の役に立てることは、献血。生徒会で参加しては」との提案で、今回の参加が決まったとか。

この提案をしたのは、現在同校のボランティアグループのリーダー・浅原加代子さん(山口市秋穂二島大里)と浅原さんの献血歴はすでに三回目。町社協のボランティア活動にも積極的に参加し、リーダーとして協力を惜しまない生徒さん。

浅原さんは献血について、「後輩が続けてやってくれることを望みます」と言葉少なにきっぱりと。

探血車が来ることは知っていても、仕事の都合で行けないことが多いですね。きょうはたまたま仕事が終わりで、用事があった秋穂へ来たものですから寄りました。

献血は、健康のパロメーター。自分のためでもあるんですよ。いざという時に備えて、千から二千ccくらいは持っていたいですね。子どもも、年二回ぐらいやっています。

これからも、体の都合がつく時には、献血していこうと思っています。

スモン患者 の皆さんへ

〈はり・きゅう・マッサ〉
一ツ代を公費負担

県では、スモン患者の皆さんに対して、昭和四十七年度から、健康保険の給付を受けられない部分の医療費を給付して来ましたが、厚生省では、現在問題となっている訴訟とは切り放して、行政的に患者の皆さんの救済措置をとることにいたしました。そこで、県でもこの事業を、次のとおり進めることにいたしました。

新しく実施されたものとして

- (一)治療研究として施術する、はり・きゅう・マッサ一ツ代の公費負担
- (二)世帯更生資金の生活費の特別貸し付け

があります。

医療費の給付やマッサ一ツ代などについては山口保健所に、生活資金の貸し付けについては、町社会福祉協議会または民生委員にご相談ください。

公民館だより

430人 黒瀉農道ひた走る

第7回親子走ろう大会



第七回体力づくり親子走ろう大会は、前日の春一番もからりと晴れた二月十八日、これまでの最高四百三十人が参加して、秋穂小学校校門から夫婦池土手を通り、黒瀉北農免道路一・五キロを折り返し三コースで行われました。

開会式で福嶋教育長は、「一番うれしいことは、親子で、町民をあげて参加していただいたことです。本町には浜村選手があり、走ることの伝統をもっています。その精神を受けつぎ、この大会が続けられています。今日の大会も、それぞれ自分の体力にあったペースで、最後まで走り通してほしい」と、励ましのあいさつを述べました。

これにこたえて、秋穂中三年・大中誠君(赤崎)が、参加者を代表して、力強い宣誓をしました。準備体操ののち、全員スタートラインへ。応援のお父さんやお母さんたちも、小旗を持って周りにかけより見守るなか、九時五十分、村光陸協会長の合図で、快晴のもと、わずかな西風に向かって一斉にスタート。



本大会参加者の最年少は、三歳の福江志郎ちゃん(中野)、最年長は、六十三歳の中村光次(中津江)・伊藤清一(東本町)さん。親子参加が七十組もありました。性別、年齢に関係なく、だれでも参加できることから、色とりどりのユニホームで、走り方も健脚を競う人あり、励まし合いながら走る親子あり、ジョギングありで、それぞれがマイペースで走っている。本大会で、最初にゴールした人は25分37秒でした。

3月の学級・教室開催日

◎公民館の休館日：毎週月曜日

日 曜	中央公民館	大海分館
1 (木)	洋裁・BBS・民謡同好会	謡曲
2 (金)	トレ・栄養改善	
3 (土)	謡曲・居合道	
4 (日)		
5 (月)	社交ダンス	
6 (火)	トレ	詩吟
7 (水)	高齢者・絵画・詩吟・和裁・バトミントン	謡曲
8 (木)	洋裁・民謡同好会	
9 (金)	トレ・BBS	
10 (土)	謡曲・園芸・居合道	
11 (日)	女子ソフト	
12 (月)		
13 (火)	トレ	詩吟 和裁
14 (水)	楽焼・絵画・詩吟・バトミントン・郷土史館外研修	
15 (木)	BBS・民謡同好会・家庭教育学級	謡曲
16 (金)	トレ	
17 (土)	謡曲・居合道・華道	
18 (日)	8ミリ16ミリ映写機講習会	
19 (月)	社交ダンス	
20 (火)	トレ	
21 (水)	絵画・詩吟・和裁・バトミントン	詩吟
22 (木)	民謡同好会・レクリエーション・洋裁	謡曲
23 (金)	トレ・BBS	
24 (土)	謡曲・居合道・花いっぱい苗くぼり	園芸
25 (日)	女子ソフト	
26 (月)		
27 (火)	トレ・華道	
28 (水)	絵画・詩吟・バトミントン	詩吟 和裁 謡曲
29 (木)		
30 (金)	トレ	
31 (土)		

最年長の

伊藤清一さん (80) 東本町



参加された勤機は——
息子に「お父さん、駆けてみよう」と言われて。私自身、最近車に乗ることが多くなり、人間、足がしっかりしておらんと、いつも思っていたので、走ってみる気になりました。

ふだんの体力づくりは——

朝起きると手や足を伸ばし、百ぐらい足ならしをすると、その日一日が楽に動けるような気がします。体に無理のない体力づくりの必要性は、ふだんから感じていますから、足を鍛えておくことを心がけ、時には、観音山まであがりますが、たまにですと、えらいです。
走られた感想は——
私は、走るといふより大またで歩いた、という程度。昔はスポーツマンでしたが、体力づくりの大切さを感じますね。

奨学生を募集

町奨学会では、次のとおり五十四年度の奨学生を募集します。
ご希望のかたは、教育委員会へお申し込みください。
資格 秋穂町に住民登録があり、二年以上居住している人が、高校・大学で修学する場合。
奨学金の額等 奨学金は月額六千円で無利子。償還方法は、卒業後一年据え置き、四年以内の償還です。
申し込み期限 三月十日
詳しいことは、教育委員会へお尋ねください。

子育てのツボ

とき 3月15日(木) 午前9時30分
ところ 中央公民館
一年間を顧みて
本年度のまとめ
意見発表
■ 子育てについて、みんなの知恵をもちよ
り、考え学びあいませんか。

新収図書のご案内

一般図書【歴史】▽坂東風物詩(殿木三郎)▽坪内寿夫の経営独学(坪内寿夫)▽純牛待望論・大平正芳の血と涙(大隈秀夫)【社会科学】▽お母さんは心配しすぎる(松田道雄)【工学】▽ひとり暮らしの知恵(吉沢久子・佐藤順子)【芸術】▽クイズタイムショック1・2(多村映美)【文学】▽純愛(瀬戸内晴美)▽兎の眼(灰谷健次郎)▽優雅な欲望(源氏鶏太)▽女の幸福(平岩弓枝)▽夕暮まで(吉行淳之介)▽中年ちゃんばら(田辺聖子)▽さらば星座上・下(黒岩重吾)▽殺しの四人(池波正太郎)▽鍵のかかる部屋(三浦朱門)▽七瀬ふたたび(筒井康隆)▽時効(和久峻三)▽女の遺産(小幡欣治)▽愛すれどひとり(落合恵子)▽離婚(色川武夫)▽二十四才の友情(森村桂)▽結婚関係(笹沢左保)▽ぼくが猫語を話せるわけ(庄司薫)▽荒らぶる魂(西村寿行)▽分校日記(三好京三)▽わたしにはかまわないで(源氏鶏太)▽休暇は終わった(田辺聖子)▽あたしの中の……(新井素子)▽つわもの賦(永井路子)▽不毛地帯一と四巻(山崎豊子)▽風の中の翅のよ(夏夫)



ゴール寸前の志郎ちゃんとお母さん

最年少の

福江志郎ちゃん (8) (中野)

シャツ一枚になって、三〇分を完走した志郎ちゃん。伴走のお母さんは、「この子は、走るのがとても好きなんですよ。」「お母さん、走ろうね」といって。でも自分に走ろうといつて、本当はどこまでやれるか心配だったようです。歩きかけては走り、最後まで走り通せて、本人はとっても満足しています。

郷土史 (66)

「本家」の直系

中道村の藤田家開祖・市郎兵衛の三男・三右衛門を初代とする「本家」の直系・傍系は、秋穂に大きな影響を与えた。

直系四代目の吉之助は、天保三年（一八三二）飢きんや一揆で社会不安が続いた時期に、中道村給庄屋になった。

吉之助のあと耕吉は、明治維新の混乱のあと、大小区制に代わって郡区町村制が施行せられた時、明治一年に秋穂東西両本郷村の戸長に就任した。



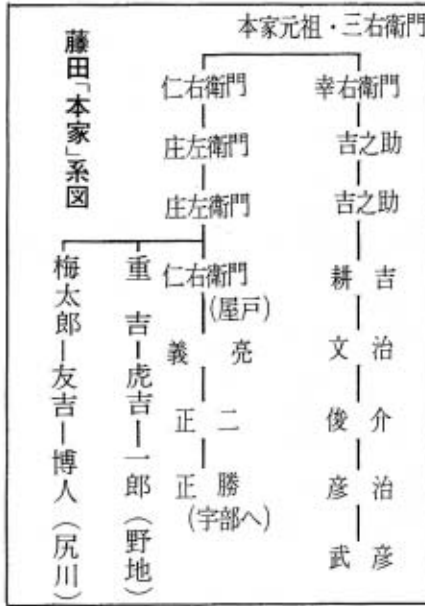
藤田彦治の業績

文治・俊介のあと、現当主・武彦氏（現町長）の尊父・彦治は、

本家・藤田家

遍読誦供養塔をたて翌年他界。

中道バス路線、流下式塩田改良事業、忠魂碑・町民グラウンド工事、浜青江干拓事業、青江湾締め切り工事等に尽くし、塩田整理期には、山口県塩業連合会長として活躍した。そのうちの浜青江干拓事業について述べる。西青江地先



一六町歩に及ぶ干拓事業の計画は、昭和二年一月、当時の青江塩田関係者一三名の共同事業として、彦治が中心になつて進めた。青江塩田の石炭がらをも

って埋め立て、主として畑開作にするつもりであったが、のち計画を変更して次の通りとした。田一八、二八二坪（六町九畝）畑一六、三五七坪（五町四反余）完成して終戦後、県営の自給塩田がこの一面で行われた。

別家・藤田庄左衛門の業績

三右衛門の二男・仁右衛門のあと、庄左衛門が二代続く。初代の庄左衛門は、天保八年（一八三七）中道墓地に、「光明真言九百万遍読誦供養塔」をたて翌年他界。

次の庄左衛門の代にかけて、西ノ浦塩田で三塩戸の大浜主になり、花香浜築立の時、多くの金持ちは危険な投資にしりこみしたが、率先して三番浜を買入れた。そして嘉永二年（一八四九）に、花香浜年寄を仰せつけられた。①

中道の藤田一族の中には、早くから三田尻や西ノ浦の塩浜を手に入れて、中道を留守にする者も多くなった。こんな時期に、給領主・布施家は中道に移り住み、難渋が続いて借銀も意のごとくならず、ついに百姓共に向かつて次のように浜持ちを禁止し、その売り払い代銀を借り上げようと謀った。②

け候。左候で代銀そのまま、拙者預かり置き、随分安利にして年々下渡し候事。そればかりでなく布施氏の家の普請を申し付け、代銀負担のできない者は労役・夫役を課した。領主たる武士の無理難題に一同思案にくれる中で、庄左衛門は、ひそかに布施氏の急場を独力で助けて慰め、怒りを和らげた。詳細は省く。給領主に対してだけでなく、藩府に対しても多額の献納銀を差し出し、それらの功で慶応三年（一八六七）一〇月には、百姓最高の榮譽である永代刀・永代名字・永代大庄屋格を仰せ付けられた。③

長男の仁右衛門は中津江浜の経営上、屋戸に居を構えた。三男の重吉は、花香浜を譲りうけて益田家給庄屋をつとめ、中津江野地に別家した。そのあと虎吉が継ぎ、現当主は一郎氏で、高潔の士、秋穂塩業組合の恩人。四男の梅太郎は中道で別家し、そのあと友吉が尻川に移り、大正から昭和にかけて村長をつとめた。現当主は博人氏。

藤田仁右衛門の業績

既に早くから商品作物の砂糖、黍栽培と、宰判内売りさばきの免許を仁右衛門等は得ていたが、成績良好で、安政五年（一八五八）本家の耕吉が給庄屋のころ、畑中・政右衛門と共に、二島・台道・鉢

銭司・嘉川の有志と連携し、砂糖黍栽培を盛んにして、その売りさ

ばきを三田尻・山口・美祿の各宰判内から秋市中にまで広げる免許を願ひ出た。④。このように、各方面に事業を進め、塩の売りさばきと共に手広く経営して、利益をあげていった。

県下屈指の大地主

明治になって封建制度が廃止され、自由競争の経済社会の進展につれて貧富の差が次第に大きくなり、土地を手放す農家が次第にふえ、一方では大地主もできた。明治二六年、仁右衛門と義亮名義の所有地は川東全域にわたり、田畑約四三町、塩田一一町余、屋敷・山林等併せて実に六〇町余の大地主になっていた。⑤

当時、国税収入の大部分は地租税であったから、仁右衛門は、県下屈指の多額納税者であった。

仁右衛門の長男・虎太郎が若くして没したので、二男の義亮（はじめ芳松）に家督を譲った。義亮は、明治二六年から秋穂村長をつとめ、義亮のあとを正二が継いだ。太平洋戦争後、農地改革で耕地は人手に渡った。現当主の正勝氏は字部で印刷業をはじめ、秋穂の地を去った。

注①佐々並・土山家文書②中津江・藤田家文書③山内家文書④小郡宰判本控⑤屋戸・藤田家記録

（秋穂町教育委員会嘱託 田中 穂）

町内の事業所数・416

従業者数・2,251人

53年事業所統計調査 結果の県速報から

昨年、6月15日現在で行われた、53年事業所統計調査結果の概要が、このほど、県の速報として公表されました。

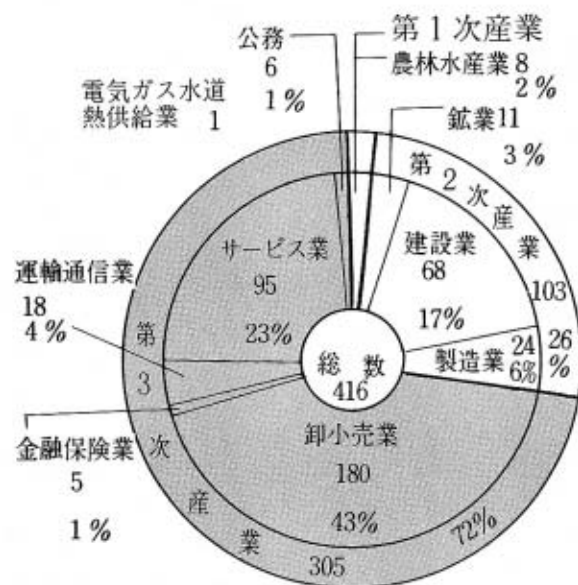
これによりますと、町内の事業所数は416、従業者数は2,251人。前回調査の50年と比較しますと、事業所数で14、従業者数で35人増加しています。

これを経営別に見ますと、民営事業所が395、従業者数が1,983人、公営(国・県・町)事業所が21、従業者数が268人です。

このうち、民営事業所の従事者を規模別に見ますと、1~4人の事業所が301と最も多く、次いで5~9人が48、10~29人が40、30~99人が5、100~299人が1事業所となっています。

事業所の産業別構成比は、図をご覧ください。前回の調査に比べて、事業所数が大きく伸びたのは建設業の16%、次いで卸小売業の6%でした。

(この速報は、県がとりまとめた概数であり、後日総理府統計局が集計し、公表する数値が確定数となります。)



火災の起こりやすい季節です

それぞれの持場で生かせ火の用心

二月二十八日から三月十三日まで、全国一斉に、春の火災予防運動が行われています。

これから春にかけて空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期になります。火災のほとんどが、人のちよつとした不注意から発生していることから、家庭や職場では、一人ひとりがふだんから火の元に注意するとともに、万一の時の対策を話し合っておきましょう。

●万一のことを考えて、病人・幼児・老人や身体の不自由な人は、避難しやすいところに寝かせましょう。特に夜間の火災の場合は、発見が遅れがち

なので注意しましょう。

●幼児や老人などを残して外出するときは、必ず隣近所へ頼んでおきましょう。

●廊下や階段など避難通路になる場所には、障害物を置かないように。

●万一の火災に備えて、水バケツや消火器を用意しておきましょう。

●異常乾燥時および強風時は、火気の使用に注意しましょう。また野焼きをするときは、必ず町役場へ届け出てください。

。たき火をするときは消火用具を準備し、よく監視しましょう。

転出・転入の届けをお忘れなく

三月、四月は、一年のうちで特に引っ越しの多い時期といえます。親元に住んでいた人が大学に入学したり、就職したりして親元を離れ、下宿や寮に住む場合、あるいは転勤などで住所を移すときは、いままですんでいた市区町村の役場に、必ず転出届を提出してください。

またそれと同時に、転入した日から十四日以内に、新しい住所のある市区町村の役場に、転出証明書を添えて転入届を忘れずに提出してください。同じ市区町村内で住所を移したときは転居届を、世帯主が変わった場合は

世帯主変更届を、お忘れなく。市区町村の役場には、住民の皆さんの住所などを記載した、住民基本台帳という公簿が備えてあります。市区町村では、この住民基本台帳に基づいて、選挙人名簿を作成したり、印鑑の登録を受け付けたり、あるいは国民年金、児童手当の支給や予防接種を行うなど、私たちの暮らしに密着した事務を行っています。

この大切な住民基本台帳が正確であるためには、ぜひとも正しい届け出が必要なのです。



映写技術講習会

■8ミリ・16ミリ■

日時 三月十八日(日)午後一時から五時まで

場所 中央公民館

受講料 無料。ただしテキスト代三百円

申し込み 三月十四日(水)までに中央公民館、または大海分館へ申し込んでください。

その他 本講習会を受講した人には、町教育委員会の16ミリ映写機の使用を認めます。当日は、カラービデオの展示も行います。
※詳しいことについては、中央公民館(電話二一三二・有四九八一)へお問い合わせください。

通信制生徒を募集

■県立山口高等学校■

働きながら高等学校教育を受け、高等学校卒業の資格を得ようとする人、または卒業を目的としないで、自分の希望する科目だけを選んで学習しようとする人のために、県立山口高等学校では、「いつでも」「どこでも」「だれ

でも」学べる通信制課程を設置して、生徒を募集しています。

募集学科 普通科・衛生看護科
入学資格 中学校卒業。またはこれと同等以上の学力を有すると認められる人。ただし、衛生看護科志願者は、文部省認定の准看護婦養成施設の生徒であること。

願書締め切り 四月十五日

詳しいことは、百円切手同封のうえ、〒七五三山口市糸米一丁目山口高等学校通信制(電話〇八三九二二一八五一)にお問い合わせください。

町老連主催の南九州

方面旅行団員を募集

町老人クラブ連合会では、五十四年度事業として実施する研修旅行の団員を、次の要領で募集します。老人クラブの会員はもちろんのこと、一般のかたでも結構です。ので、皆さんおさそい合わせのうえ、ご参加ください。

日時 四月九日(月)から十二日(木)まで(三泊四日)

行き先 宮崎・日南海岸と高千穂峽・阿蘇方面

交通機関 貸し切りバス
募集人員 百三十五人

費用 三万一千円
締め切り 三月二十日(火)

申し込み先 各老人クラブ会長
または町民課
このことについてご不明な点は、町民課へおたずねください。

は、町民課へおたずねください。なお、行程など詳しいことは、参加者に別途お知らせします。

第2木曜日は

補聴器の修理日

△時間▽午後三時ごろ△場所▽町民相談室 相談は無料ですが、修理費については一部負担をしていただくことがあります。身障者手帳のないかたは、実費負担となります。

役場執務時間の変更

三月一日から三月末日まで、次のとおり執務時間に変更になります。

平日・午前八時三十分から午後四時三十分まで。

土曜日・午前八時三十分から正午まで。



だれでもいつでも明るく

住民基本台帳登録人口

2月1日現在		<前月対比>	
男	4,479人		-5
女	4,908人		±0
計	9,387人		-5
世帯数	2,460		+4

ご冥福を祈ります
(敬称略)

部落	氏名	年齢	逝去の日
老人ホーム	末廣初一	70	1月21日
中条	有富源二	87	同 27日
中津江	山本治助	70	2月8日
日地	籠村傳市	67	同 12日

(1月16日~2月15日届出)

3月の休日診療医院 (吉南医師会)

時間：9時から18時まで

日	内科 I	電話	内科 II	電話	外科	電話
4(日)	小郡・浜本医院	08397-②-0616	阿知須・同仁病院	083665-4006	小郡・村田外科	08397-②-7100
11(日)	林病院	②-0411	佐山・田村内科	083989-4749	第一病院	②-0333
18(日)	第一病院	②-0333	秋穂・小野医院	2353	小川整形外科	②-2887
21(祝)	上郷医院	②-0916	阿知須・新井医院	083665-2048	阿知須・同仁病院	083665-4006
25(日)	田中内科	②-2325	秋穂・三河内医院	2503	小郡・三隅外科	08397-②-1003

今月の心配ごと相談日 12日(月)大海会館・20日(火)老人福祉センター